

## 何も分らない私に出来ること

沖繩県 沖繩県立開邦中学校三年 佐久本 和奏

私は水が好きだ。日々のご飯にも、お菓子にも、大抵の食物に水は合う。私個人の感想だが水は本当にどんな食物ともベストマッチするのだ。そんな水は飲料としても、お風呂等の衛生的に生活するためにも、その他私たち人間が快適に過ごすために必要不可欠だ。

また、私にとって水はごく身近な存在だ。理由として私の住む地域にはとても湧き水が多く、家の近くに井泉がいくつもあることが挙げられる。幼い頃は近所の水脈から樋で水を引いた川のような場所へよく兄と共にメダカを捜しに行った。他にも塾に通っていた頃は帰りにふとその場所を覗くと蛍が舞っていて、やや興奮気味に親に報告したこともあった。私にとって自然と触れ合える場所だった。

しかし、そんなあの場所に、数年前、泡が立っていた。この泡が立っていた原因は工事による一時的でやむを得ないものだったのか、家庭から出る生活排水だったのか、はたまた誰かの悪戯か。私には本当の原因を知る由もないが、当時、あの場所に生き物は住みづらかっただろうという事は分かった。

そういつた経験もあり、去年の夏休み、私は身近にある湧き水について調べた。湧き水は数十年前までは普通にそこに住む人々にとって大切な飲料水や生活用水として利用されていたこと、そして、やはり私が実際に見てきたように湧き水は現在では様々な生き物の住処となっていることを知った。

さらに近年では開発の影響により水の量が減ってきているということも知った。勿論開発は致し方ないことであると私は思う。しかし、それと同時に水が減り、生き物はどこかへ追いやられているのである。

水質汚濁も同様だ。こちらは生き物だけでなく私たち人間にも大きな影響をもたらす。場所によっては一部の産業に影響をもたらしたり、飲

料水の水源であれば消毒に使われる塩素の量が増えて有害な物質が発生したりする事もある。

水は人間だけが必要としているわけではない。他の様々な生き物も生きる為に必要としている。そんな大切なものを人間の一言で汚し、減らしてしまつてはならない。人間の勝手な行動のせいで人間も生き物も、どちらも悪影響を受けてしまう。

だから、私たちは水の諸問題に対し何かしら、自分たちの為にも、他の生き物の為にも、行動を起こさなければならない。

だが、何か行動をと言われても私には具体的なことがわからない。例えば食べ終わったラーメンのスープをシンクにそのまま流してしまうと下水処理が大変になるから凝固剤を使用して固めて捨てよう、という話がある。私はこの話を学校で聞いたが、ネットでこの事について調べてみると「むしろ固めて捨てるなんて焼却するから環境に悪い」「やったところで変わらん」といった話が出てくる。結局どの話が正しくてどの話が誤りなのか、結局先程述べた生き物達の為に何が出来るのか。今の私には何も分らない。

しかし、こんな状態の私にも出来るたった一つの簡単なことがある。それは自分で進んで調べてみることだ。信頼できる情報を探したり、誤りの可能性を視野に入れた上で様々な人の話を聞いたり。たった数分、数十分でもいい。少し関心に向けて調べると先程のネット上で私が見かけた情報よりもっと多くの様々な情報を手に入れることが出来る。

この関心に向けて自ら進んで情報を手に入れることはどんな人でも出来る、水の諸問題解決に向けた大切な第一歩になると私は考える。

だから私も、まずは基本である、水の現状について自ら進んで調べようと思う。